

f\*\*\*\*\*

本ニュースリリースは、医療 AI プラットフォーム技術研究組合、株式会社エムネス、エルピクセル株式会社の共同ニュースリリースです。重複して配信される場合がありますこと、ご了承のほどお願いいたします。

\*\*\*\*\*

2021年8月11日

医療 AI プラットフォーム技術研究組合

株式会社エムネス

エルピクセル株式会社

## 医療 AI プラットフォームを通して、医用画像共有システムと連携した 脳動脈瘤検出補助 AI を医療機関に提供する試行運用を開始

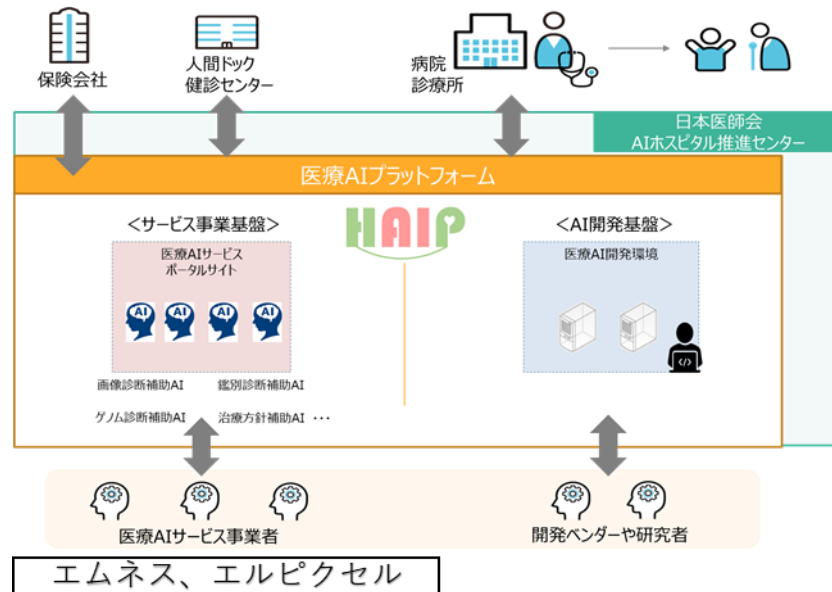
医療 AI プラットフォーム技術研究組合(事務所:東京都江東区、理事長:八田泰秀、以下略称「HAIP」)、株式会社エムネス(本社:広島県広島市、代表取締役社長:阿部伸一、以下、「エムネス」)、並びにエルピクセル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:島原佑基、鎌田富久、以下、「エルピクセル」))は共同で、HAIP が研究開発中の医療 AI プラットフォームを通して、エムネスの医用画像共有システムと連携したエルピクセルの脳動脈瘤検出を補助する医療 AI サービスを、医療機関へお届けする試行運用を開始します。

今回の試行運用では、日本医師会 AI ホスピタル推進センター(Japan Medical Association Promotion Center for AI Hospital & Clinic、以下通称「JMAC-AI」)と連携することで、社会実装時の業務プロセス等の評価も併せて検証いたします。

### 【試行運用の概要】

今回、使用する医療 AI サービスとして、エルピクセルの脳 MRA 画像から、2mm 以上の嚢状動脈瘤の可能性がある候補を検出し、医師の読影を補助する医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Aneurysm と エムネスが提供する医用画像データをクラウド上で安全に共有することができる LOOKREC を、HAIP の医療 AI プラットフォームに連携させる試行運用を行います。これにより医療 AI プラットフォームを社会実装するためのフィジビリティ評価の一環として、画像データの取得、医療 AI サービスによる分析、分析結果の医師への報告等の一連の流れについて医療 AI プラットフォームを用いて運用するための技術的検証を約10カ所程度の医療機関のご協力のもと行います。併せて JMAC-AI において参加を希望する医師を募集し、登録する仕組みの構築や業務プロセスの検証も行います。

## 【HAIP、エルピクセル、エムネス及び JMAC-AI の連携イメージ】



### 【医療 AI プラットフォームについて】

医療 AI プラットフォームは、サービス事業基盤と AI 開発基盤で構成されます。

そのうち今回試行運用するサービス事業基盤では、高度で先進的な医療 AI サービスをメニューとして一元的に提供するポータルサイトを提供し、医療機関等の利用者がこのポータルサイトを介して医療 AI サービスを安心・安全に利用することが可能になる重要な基盤となります。これにより医師などの利用者は診断補助 AI など多くのサービスを活用することで、診療現場で患者と向き合う時間を増やしたり、働き方改革などに寄与することが期待されています。

一方、AI 開発基盤は、より有益な医療 AI サービスを創出させるために、医療 AI サービスの開発ベンダーや研究者が外部のデータベースを仮想的に利用し、医工連携や産学連携を後押し、さらなる高度で先進的な医療 AI サービスを開発できる環境になります。

### 【医療 AI プラットフォーム技術研究組合(HAIP)について】

内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「AI(人工知能)ホスピタルによる高度診断・治療システム」課題の中で、2021年4月に本研究に参画する民間企業により設立された厚生労働大臣・経済産業大臣認可による非営利共益法人であり、医療 AI サービスの普及・発展に資する業界共通の基盤技術の研究開発を行っています。

### 【株式会社エムネスの製品 LOOKREC について】

LOOKREC は 100%クラウドベースのため、ブラウザのみで稼働することができる専門ビューワを通じて、リアルタイムに医用画像を共有することで、閲覧・アノテーション・レポート作成を可能にし、医師間コラボレーションの拡大を実現することが可能です。

#### 【株式会社エムネスについて】

株式会社エムネスは、クラウド上に構築した LOOKREC を活用し、リアルとデジタルの融合した世界で患者が安心して理想の医療を受けられるよう、専門の知識と経験を持った医師や医療関係者がチームで診療出来るサービスを展開しています。

#### 【エルピクセル株式会社の製品 EIRL(エイル)について】

- ・ 医用画像解析ソフトウェア EIRL Brain Aneurysm

EIRL Brain Aneurysm は、脳 MRA 画像から、2mm 以上の嚢状動脈瘤の可能性のある候補を検出し、医師の読影をサポートするソフトウェアです。

- ・販売名 医用画像解析ソフトウェア EIRL aneurysm
- ・承認番号 30100BZX00142000
- ・製品サイト(医療従事者向け) : [https://eirl.ai/ja/eirl-brain\\_aneurysm/](https://eirl.ai/ja/eirl-brain_aneurysm/)

#### 【エルピクセル株式会社について】

エルピクセル株式会社は、ライフサイエンス領域の画像解析に強みを持ち、医療・製薬・農業分野において画像解析技術とりわけ人工知能技術を応用することで、高精度のソフトウェアを開発してまいりました。医師の診断を支援する AI 画像診断支援技術「EIRL(エイル)」、創薬に特化した画像解析 AI「IMACEL(イマセル)」を軸に事業を展開しています。

#### 【日本医師会 AI ホスピタル推進センター(JMAC-AI)について】

現在 AI ホスピタル研究の一環として、プラットフォーム事業者と連携して社会実装に取り組んでいますが、将来的には事業者からの申請に基づき、AI ホスピタルシステムを支えるプラットフォーム事業者を審査し、認定する形態を取っていく予定です。

また、利用者およびサービス提供事業者の登録事業も担うこととなります。事業の進展やサービスの多様化に伴い、関係者間の取決めや規程などを整理し、データとサービスの利用が円滑に行われるよう登録体制を整えていきます。

(問い合わせ先)

医療 AI プラットフォーム技術研究組合

E-mail: [admin@haip-cip.org](mailto:admin@haip-cip.org)

株式会社エムネス

担当:海野(うみの)

TEL:03-6453-0353 Email:umino@mnes.org

エルピクセル株式会社 広報担当

TEL:03-6259-1713 Email:pr@lpixel.net

以上



HAIPの研究開発の一部は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」課題における受託研究開発費により実施しております。